

2026年度
慶應義塾大学大学院薬学研究科
薬学専攻 博士課程
一次入試

小論文課題

以下について、解答用紙2枚以内(800字程度)で記述しなさい。

多剤併用 (polypharmacy) による有害事象や服薬アドヒアランスの低下は、患者の安全と治療の質に大きく影響する深刻な課題である。この課題への対応策として、不要な薬剤を適切に中止・減量する“減薬 (deprescribing)”の重要性が指摘されている。

このような背景を踏まえ、まず、減薬を検討する際に留意すべき薬剤特性や患者背景について説明しなさい。また、薬剤師として減薬を実践する際の役割や現状の課題、及び薬学研究者として安全かつ体系的に減薬を推進するための貢献のあり方について、あなたの考えを述べなさい。